



教育 おおらか さわやか きわやかな人を育む大崎の教育

問 教育委員会 ☎476-1111(401)

◆平成 25 年度大崎町小・中学校音楽発表会

11月13日(水)、町中央公民館大ホールにおいて、『第49回大崎町小・中学校音楽発表会』が開催されました。

野方小学校3・4年生36名による合唱『教室大笑い』、合奏『ザ・ロンゲストマーチ』から始まり、町内9小・中学校の279名の児童・生徒たちが、学校で練習してきた合唱や合奏を披露しました。



▲音楽発表会の様子

◆地域が育む『かごしまの教育』県民週間

鹿児島県では、毎年11月1日～7日の期間を『地域が育む「かごしまの教育」県民週間』として設定しています。本町の小・中学校においても、この期間を『大崎町学校参観週間』と設定し、数多くの町民の皆さまにおいでいただくことができました。

来年度も同じ時期に学校参観週間を設定いたしますので、お誘い合わせの上、ぜひ学校にお越しください。



▲持留小学校の学校参観週間

まぶい窓おしえの庭

親の愛

NO.21

野方小学校 校長 和田 敏郎

『一番の宝物』

吉田奎子(東京都日野市 55歳)

娘と待ち合わせをした豊田駅でのこと。改札前の片隅で本を読んでいて、そろそろかなと思い、ふと上げた目に飛び込んできた光景。

それは、白い杖をついた方が、南口の降りる階段が分からず、なんだか見えて危ない状態の後ろ姿だった。今にも落ちそうな感じなので、その人のもとへ人込みを猛烈に走っていくと、私より先に下の階段を駆け上がってきた人がその人を支えてくれた。娘だった……。

うれしかった。愛(いつく)しんで育てた娘が今、私と同じ思いをほかの人にも持ってくれている。今でもそのことを思うと、幸せな涙があふれる。これまで生きてきて、一番の宝物です。

『涙が出るほどいい話』第7集から抜粋

親の愛が、子どもの中に人間としての愛や豊かさを育みます。子どもは、毎日の生活の中で、親の懸命に働く姿や日常の過ごし方、人のつきあい方などを見ながら育ちます。『言うように育つのではなく、するように育つ』のですから、親の言動はいつも子どもから注目されています。子どもをこう育てたいという姿を親自らが実践することが求められます。だから、『育児=育自』と言って、保護者自身も子どもとともに育つのです。子どもとともに成長するから、子育てはロマンに満ちています。子育ては大変ですが、これほどすばらしいものもありません。